

第2回日本老年薬学会学術大会

ランチョンセミナー5

薬剤師が押さえておきたい 嚥下の知識最前線

2018年5月13日(日) 11:45~12:35

第3会場 都市センターホテル
5階 オリオン
(東京都千代田区平河町2-4-1)

座長 熊谷 雄治 先生
(北里大学病院 臨床試験センター長)

演者 海老原 覚 先生
(東邦大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授)

共催

第2回日本老年薬学会学術大会
東和薬品株式会社

薬剤師が押さえておきたい 嚥下の知識最前線

海老原 覚

東邦大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

高齢化社会の到来とともに嚥下機能障害の問題はすべての医療現場において避けては通れない問題となっている。自立している高齢者でも約4分の1が、施設入所高齢者にいたっては約半数がなんらかの嚥下障害を抱えている。したがって病院薬剤師であっても薬局薬剤師であっても、同様に嚥下機能障害に対する対応を迫られるケースが、今後ますます増えてくると思われる。それに適切に対処するためには、嚥下生理の基本とその加齢および疾患による変化を知る必要がある。そして簡単な問診でその嚥下機能障害の病態をとらえる技術や、可能なその対処法の知識も重要となってくる。さらに重複障害・重複疾患にてポリファーマシー高齢者の増加するなかで、どのような薬剤が薬剤性の嚥下障害をきたす可能性があるかの知識も必須となってくる。また嚥下の生理機構・嚥下反射の神経性調節機構の最新知見を踏まえたうえで、どのような薬剤が経口摂取に適しているかなどの、最新の知識を紹介する予定である。本講演で、すべての薬剤師にとって押さえておくことにより、ワンランクアップの薬剤提供ができると思われる嚥下の知識を習得して頂ければ幸いである。

海老原 覚 先生 ご略歴

- 1990年 東北大学医学部卒業
- 1994年 東北大学医学部大学院（内科）卒業
- 1996年 カナダMcGill大学留学
- 2000年 東北大学医学部附属病院老年・呼吸器内科 助手
- 2007年 東北大学病院老年科 助教
- 2009年 東北大学病院内部障害リハビリテーション科 講師
- 2014年 東邦大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授(現職)